

再々検討していた、だいたいと思います。実際の状態を知らない者が一方的に申し上げているかと思いますが、どうしても気になり、申し上げます。次第です。

回答

ご提案いただきました「北通り線の建設」についてですが、都市計画道路11路線は、平成4年に計画決定され、平成12年車線幅員に係る都市計画道路の変更決定を受け、その内「北通り線」については、都市計画法の規定により、公共・文教施設が集積し、現況の道路幅員が狭く交通に支障をきたしている為、平成13年都市計画の事業認可を受け用地買収を行っていますが、今後安全で健やかな暮らし

を支える町を創る為にも街路樹を主体とした計画道路としていきたいと思っております。

尚、残りの路線については、限られた財源の中、計画的段階的な都市計画プログラムを作成すると共に、土地利用規制と連携した検討見直しが必要と考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

夏季シーズンのハケ岳のスポーツ合宿について考える (平成15年12月提案)

富士見が自然と共存し、しかも富士見が財政的に潤い更に雇用の拡大につながる道は夏季シーズン

のスポーツ合宿の施設として全国的に売出すことだと考えます。

「ラクビー合宿といえば菅平」というくらい全国的に売り出せる事業が必要だと思われます。現在八ヶ岳にあるジュネスは夏シーズン申し込みが多く断っている何とっておりません。もったいない話です。当然受け入れるには施設とグラウンド等の設備が必要になると思います。例えば陸上競技場だけを考えれば、今ある場所の周辺にあと2、3面造るとか長距離ランナーには道路沿いに走るコースを設置し、利用者もドライバーも安心して走れるコースが早急に必要だと考えます。大学の陸上部も富士見高原は高地で道路がアップダウンに富み、最高の場所だといっています。工場誘致もいいでしょう。それよりもこの素晴らしい自然と共存し、富士見をアピールするには核になるものがが必要です。

回答

ご提案いただきました「夏季シーズンのハケ岳のスポーツ合宿」についてですが、富士見高原の施設整備は、提言どおり、ある時期においては各施設の需要が多く利用者の要望に応えられない状況があると思います。施設の整備充実には確かに必要であると認識はして

おりますが、整備にあたっては諸事問題があります。一つは投資的な要素です。これは年間を通じて安定した利用客があるかの問題です。整備にあたっては多額の資金を必要としますので需要の調査を行い、資金の調達を行なう必要があります。もう一つは開発の問題があります。地域一帯は森林でありまして施設の形態にもよりますが、森林の伐採等の開発行為が発生しますので法的な問題をクリアする必要があります。

また、一帯の土地は財産区所有地と国有林であり、施設の整備を行なうには関係者に承諾してもらう必要も生じてきます。

提言のとおり全国的にアピールしていくことは大事であり、必要であると思っています。施設の整備充実につきましては関係者と十分協議し、必要なものについては実施していきたいと考えております。

冬季の誘客事業について (平成15年12月提案)

冬季はスキー場の有効活用以外考えられません。各スキー場に小・中・高その他のスキー教室を誘致するしかないと思います。管理会社、開発公社、町が三位一体となって取り組むことが必要です。富士見町が合併とかわららず将



パノラマのスキー教室 (2月17日撮影)

回答

来像を考えたとき、富士見は夏季合宿と冬季のスキー場を利用した誘客ができれば、自然を破壊せずに、自然と共存しながら発展することができると思います。

ご提案いただきました「冬季の誘客事業について」ですが提言のとおり、各学校を対象にスキー教室を誘致することは重要であると考えています。学校が週休二日ということもあり、土曜日の教室が減ってきています。現在は、修学旅行の中にスキー学校を組み込んだメニューを提供しての誘致を行なっており、九州方面からの学校についての引合いがあります。今後も地区を増やし、又どのような行事の中でスキーを組み込むかを検討し、誘客活動を展開して行き